

(仮称) 気仙沼高等学校

校訓 究理創造 和親協同 至誠励業



1 基本データ

※平成30年度に気仙沼高校と気仙沼西高校が統合され、(仮称)気仙沼高校となります。

創立：平成17年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：698名
所在地：〒988-0051
気仙沼市常楽130番地
TEL：0226-24-3400
FAX：0226-24-3408

ホームページアドレス：
http://www.kesennuma-h.myswan.ne.jp
電子メールアドレス：
info@kesennuma-h.myswan.ne.jp
主な交通機関：
JR気仙沼線不通につき、高速バス輸送システム(BRT)で「不動の沢」下車 徒歩10分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

飛翔の翼 世界へと

勉強、部活動、学校行事、交流事業など、日々あらゆる場面を通して、21世紀を生き抜く力を確実に身につけ、世界を舞台に活躍する人材を育てます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、昭和2年に県内9番目の旧制中学校として開校した旧気仙沼高校と、大正12年に町立実科女学校として開校した旧鼎が浦高校が、平成17年4月に再編統合されて開校した学校です。両校の80年に及ぶ良き伝統を継承し、活力ある教育活動や先進的な取り組みを展開して、地域の期待にこたえられる学校づくりを進めます。大学進学を中心とした多様な進路の達成に向けた学習指導(45分7時間授業)や部活動の奨励を行っています。また、国際交流・地域文化交流に積極的に取り組み、英語教育の充実を図りました。(平成18年度英語教育優秀校として文部科学大臣より表彰)。さらに、震災後は、支援事業を契機として他県の高校や各種団体との交流活動を積極的に行い、昨年度より文部科学省のスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定され、海を素材とするグローバルリテラシーの育成を目指しています。平成30年度には気仙沼西高校と統合します。

(2) 設置学科等

(過去3年間の学科コース別・前後期選抜別の出願者数・合格者数)

【気仙沼高校】

<前期選抜>

		H29	H28	H27
普通科	出願者数	98	112	64
	合格者数	60	72	48

<後期選抜>

		H29	H28	H27
普通科	出願者数	167	179	210
	合格者数	140	168	192

【気仙沼西高校】

<前期選抜>

		H29	H28	H27
普通科	出願者数	18	27	27
	合格者数	16	24	27

<後期選抜>

		H29	H28	H27
普通科	出願者数	79	53	76
	合格者数	64	50	75

(3) 教育方針

教育目標

- I 新しい時代に対応できる学力の形成を図り、創造的な能力の啓発に努め、国家及び社会の形成者としての資質を養う。
- II 心身を鍛え、豊かな情操と協同の精神を培い、個性の伸長を図る。
- III 地域の自然や文化を尊び、国際的視野に立ち、志の実現を自ら目指し活躍する人材を育成する。

(4) 教育課程の特色

本校の教育課程は、一人一人の進路目標を第一に考えた教育課程です。大学入試制度の変更にも十分対応しています。1年生は全クラス共通の授業で、学習の基礎・基本をしっかり身につけます。2年生は、人文類型、理数類型、創造類型の3類型に分かれて学習します。人文類型は国語で、理数類型は理科で単位数を増やしています。創造類型は文理混合型で、課題研究があり、課題解決型学習に多く取り組みます。3年生は、具体的な進路に応じた科目を選択し、学習します。

(5) 行事・生徒会活動・部活動

主な行事予定は以下のとおりです。

- 4月 1年生ホームルーム合宿
生徒会入会式、部紹介
- 5月 生徒総会、高校総体壮行式
- 7月 球技大会
- 8月 文化祭
- 9月 運動祭
- 10月 芸術鑑賞会
英語スピーチコンテスト
- 11月 生徒総会

12月 修学旅行(2年)

運動部は19部、文化部は18部あり、午後7時近くまで、質の高い活動が展開されます。昨年度は、フェンシング部男子が全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に団体と個人で出場し、それぞれベスト16になりました。また陸上部男子も100mでインターハイに出場し、活躍しました。文化部では、美術部が全国総合文化祭に出品し、また、自然科学部も科学研究実践活動推進プログラム成果発表会に出場し、奨励賞を受賞しました。(なお、南三陸町方面に帰るための夕方のバスは「不動の沢 午後6時47分発」を利用できます。)

(6) 卒業生の進路状況

【気仙沼高校】

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	H28	H27	H26
国公立大学	39	47	41
国公立短大	5	4	3
私立大学	91	126	123
私立短大	12	10	11
専各学校	59	45	59
就職	13	25	15
その他	15	20	17
卒業生計	234	277	269

主な進路先(平成29年3月卒業生)、
()内は人数 (1)は省略。

【気仙沼高校】

<国公立大学>

北海道教育大学、北見工業大学、秋田大学(4)、岩手大学(6)、宮城教育大学、山形大学(5)、福島大学(4)、新潟大学(2)、群馬大学、名寄市立大学、岩手県立大学(2)、宮城大学(5)、山形県立保健医療大学、都留文科大学(3)、公立鳥取環境大学、尾道市立大学

<私立大学>

盛岡大学(2)、東北学院大学(10)、東北福祉大学(15)、東北工業大学(3)、宮城学院女子大学(5)、東北芸術工科大学(2)、金沢工業大学(2)、岩手保健医療大学、明治学院大学(4)、中央大学(2)、駒澤大学(4)、成蹊大学、成城大学、国土館大学、白鷗大学、日本大学(2)、文教大学(2)、帝京大学(5)、東京農業大学、神奈川大学(3)、順天堂大学、神田外語大学(2)、東洋大学、明星大学、玉川大学、名城大学、麗澤大学、大正大学 他

<専修各種学校>

気仙沼市立病院附属看護専門学校(9)、仙台医療センター附属看護助産学校(2)他

<就職>

国家一般職、宮城県職員(3)、気仙沼市職員、名取市消防、気仙沼本吉広域消防、千葉県警察官、日本貨物鉄道株式会社、南三陸農業協同組合、宮城県漁業協同組合 他

【気仙沼西高校】

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	H28	H27	H26
国公立大学	1	0	3
国公立短大	1	2	0
私立大学	19	21	16
私立短大	9	11	12
専各学校	58	50	63
就職	27	25	24
その他	1	2	2
卒業生計	116	111	120

主な進路先(平成29年3月卒業生)、

()内は人数 (1)は省略。

【気仙沼西高校】

<国公立大学>

宮城大学

<私立大学>

東北学院大(4)、尚綱学院大、仙台大、東北福祉大、宮城学院女子大、東北文化学園大(2)、石巻専修大、北海道医療大、盛岡大(2)、城西国際大、城西大、つくば国際大、東洋大、神田外語大

<国公立短大>

山形県立米沢女子短大

<私立短大>

聖和学園短大、仙台青葉学院短大(2)、東北生活文化大短大、修紅短大

<看護専門学校>

気仙沼市立病院附属看護専門学校(6)、菱会仙台看護専門学校、旭中央病院附属看護専門学校、佼成看護専門学校東北栄養専門学校、岩手看護専門学校

<専門学校(准看を含)>

赤門鍼灸柔整専門学校、仙台リハビリテーション専門学校、岩手リハビリテーション学院、気仙沼市医師会附属准看護学校(8)、仙台医療秘書福祉専門学校(2) 他

<就職>

イタバシニット株式会社、株式会社小野良組、株式会社阿部長商店、株式会社横田屋本店、気仙沼市森林組合、社会福祉法人春園会、イオンリテール株式会社(3)、株式会社藤崎、ネットヨタ仙台株式会社 他

3 入試情報

(1) 募集定員

普通科 男女240名

(2) 前期選抜について

イ 学科別の募集割合等

普通科 定員の30%以内(72名以内)

ロ 出願できる条件

次の1~3のすべての条件を満たすことを自己アピールできる生徒

- 1 大学への進学を志望するなど将来について明確な目標を持ち、学習をはじめとする諸活動において集団に寄与し、他の生徒の模範となろうとする意欲を有する生徒
- 2 中学校で意欲的に学び、3年間の学習成績が優秀な生徒
- 3 次の(1)、(2)のいずれかを満たす生徒
 - (1) 体育的活動、文化的活動、社会的活動等で顕著な実績を収めた生徒
 - (2) 中学校の学習やその他の活動において、集団の核となって活動した生徒

ハ 学力検査 国語、数学、英語 各100点

ニ 学校独自検査

小論文(配点50点) 50分
資料読取型

提示された図、表、数式などを含むいろいろな資料から読み取れる事柄についての基礎的な知識を問う設問や、資料から考察されることについて自分の考えを論理立てて記述させるもの。

集団面接(配点25点) 25分

(3) 後期選抜について

イ 学科別募集人数

普通科 168名(予定)

ロ 面接・実技の有無

なし

ハ 傾斜配点の有無

なし

ニ 調査書点と学力検査点の比重

4:6

ホ 学科の第2志望

該当なし

(4) 平成29年度転編入学試験について

(7月以降分)

【気仙沼高校】

日程	対象学年	試験科目等
平成29年7月~12月 (随時)	全学年	国・数・英・面接
平成30年1月~3月 (随時)	新2、3年	国・数・英・面接

【気仙沼西高校】

日程	対象学年	試験科目等
平成29年7月~12月 (随時)	全学年	国・数・英・面接
平成30年1月~3月 (随時)	新2、3年	国・数・英・面接

4 写真で見る学校生活



我が校のPRポイント

「文武両道」の伝統（旧気高・鼎高）を大切にしながら、みずみずしい新感覚でのびのびと学ぶ生徒たち。生徒を支え、生徒とともに成長する教職員団。— 本校の様子を一言で表せば、このようになります。

本校への帰属意識、確かな学力、夢と志の形成を指導の3本柱とし、将来的に真の学力を身につけるためのグランドデザインを設定し、主体的に学習に取り組む意識を高めようと様々な取り組みをしています。本校は、大学進学を主眼としていますが、生徒のニーズは公務員、専門学校等多様であり、それぞれ目標達成に向け努力しています。また、県立高校ですが、「地元の市教委や小中学校との距離が近い学校」、「郡部にあっても文化的な水準の高い学校」でありたいと考え、大学との連携事業や他の高校・市教委との連携事業（SSH校やユネスコスクール）などを行っています。また、昨年度よりスーパーグローバルハイスクール（SGH）に指定され、海を素材とするグローバルリテラシーの育成に取り組んでいます。

震災後は、全国から本当にたくさんのご支援を頂きました。生徒、教職員一同、心より感謝しております。様々な支援事業がきっかけとなり、県内外の各種団体や海外との交流も行っています。世代を越えた交流事業、他校生とのフォーラム、ボランティア活動、学習合宿など、本校生が新しい体験をして成長できる機会をたくさん得ることができました。これを糧にし、毎日の勉強や部活動に一生懸命取り組める価値のあるスクールライフをみんなで創造していきます。「明確な目的意識を持ってひたむきにがんばる意欲のある人」そんな中学生の皆さんを待っています。